

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1967
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.60, No.8 (1967. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670801--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新刊紹介

服部英太郎著作集VI『社会政策総論』	飯田鼎	153
森田鉄郎著『ルネサンス期イタリア社会』	松浦保	154
大米佐武郎編『地域社会と都市』 都市開発講座1	高橋潤二郎	156

鉄工組合と黎明期の日本労働運動

—日本のクラフト・ユニオンの興亡—

飯田鼎

- 一、序論的考察
- 二、労働組合運動における自然発生性と目的意識性
- 三、労働市場論的把握と労働運動論的把握
- 四、鉄工組合の構造および政策
- 五、鉄工組合の崩壊とその影響

明治三〇年代の初頭にはじまったわが国の労働運動は、すでに六〇年以上の歴史をもつにもかかわらず、それが性格としてもつ前近代性が指摘されて久しい。それは一言でいえば「企業別組合からの脱皮」の要請として現われ、労働運動の「産業別組織への再編成」の叫びとなつて、運動家、学者、評論家および労働問題に関心をもちあらゆる人々の関心を喚び起す。その最大の理由は、現実に、わが国の労働運動が、大きな転機を迎えつつあるためである。この企業別組合の発生要因をめぐって、すでに多くの研究が発表されているが、その場合、多くは西ヨーロッパとくにイギリスの職能別組合を暗

鉄工組合と黎明期の日本労働運動